

## 1 いすみの里海、里山の恵みを活かした「食のまち」プロジェクト (事業計画額: 40,000千円)

### 事業計画

○都市部に暮らしながら田舎暮らしに憧れている個人や家族を主なターゲットとし、港の朝市で個人事業主として開業し、事業者として独立していくことを目的に以下の事業を行う。

- ・移住者募集
- ・移住 & 創業支援補助
- ・港の朝市等出店支援
- ・加工施設等整備
- ・商品開発補助

### 取組状況

- 港の朝市会場で移住者相談ブース開設、移住創業支援補助として、就農支援体制整備、体験交流促進プログラム創出事業を実施した。
- 旧南部漁港事務所大原支所を水産物加工施設へ改修、商品の開発や既存商品の加工、未利用魚等を活用した新たな商品開発や加工施設を活用した技術の習得を図る。
- アイデアはあるが開発資金がない事業者、独立を考えているが独立資金がない事業者等に対し商品開発に関する経費の一部を支援、5件の交付申請があった。

### 重要業績評価指標(KPI)

- (1) 港の朝市の来場者数 目標: 5,000人/回(月2回開催)  
実績: 2,000人/回(毎週日曜開催・年間計54回開催)
- (2) 移住者、学生などによる港の朝市新規出店者 目標: 5店舗 実績: 5店舗
- (3) 農水産物のブランド化 目標: 10品目 実績: 8品目
- (4) 地域の食材を活かした店舗の拡大 目標: 21店舗 実績: 12店舗

## 2 自然と共生する里づくり推進事業(事業計画額:19,100千円)

### 事業計画

○都市部の学校給食にいすみ市産の有機米を提供するために、有機米給食と連携した宿泊体験教育を一体的に提案することで、有機米供給の新たなビジネスモデルの確立を目的に以下の事業を行う。

- ・先進的な有機稲作技術導入
- ・実証水田運営
- ・農業、環境、地域経済の3部門が連携するための会議開催
- ・マクロビやオーガニック関連の販路開拓
- ・食農教育
- ・先進的な有機稲作技術を普及するための会議開催
- ・農村宿泊体験施設改修

### 取組状況

- 千葉県で初めて水稻有機栽培の標準技術体系と普及指導体制を構築する。これにより本格的な量産体制に移行が可能となる。
- 学校給食への有機米導入率を40%に高め、食農教育を実施。有機米の域内消費が高まるとともに、日本航空国内線ファーストクラス機内食に採用される。
- 使用頻度が低調であった「いすみ市つどいの家」を、簡易宿泊所の営業基準を満たす滞在型の農村体験交流施設へと改修し、有機稲作研修、いすみ米オーナーイベント、農家民泊推進WSの拠点として活用中。

### 重要業績評価指標(KPI)

- (1) 有機稲作取組ほ場面積の拡大 目標:8ha 実績:8.7ha
- (2) 有機稲作取組農家数の増加 目標:10人 実績:15人
- (3) 農家の有機米販売に伴う所得の増加 目標:1.8倍 実績:1.6倍

### 3 都会から手の届くちばの田舎暮らし・週末移住・定住体験事業

(事業計画額: 10,000千円)

#### 事業計画

- 空き公共施設を利用した企業誘致及び空き公共施設の調査を行う。
- ・企業・起業家に対する現地見学会、及び空き公共施設等活用調査

#### 取組状況

- 千葉県といすみ市を含む3市との広域連携により、進出の可能性のある企業を発掘し、空き公共施設等とのマッチングを進め、企業等の誘致事業を実施した。
- 公共施設の全体的な状況を総括的に整理・分析し、いすみ市の目指すべき公共施設等の将来のあり方について、基本方針や数値目標を具体化するため、「いすみ市公共施設等総合管理計画」を策定した。

#### 重要業績評価指標(KPI)

- (1) 面談企業・起業家数 目標: 10件 実績: 26件
- (2) 市内案内企業・起業家数 目標: 2件 実績: 4件

## 4 さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのアクセス強化・観光プロモーション事業(事業計画額:2,102千円)

### 事業計画

○千葉県が実施する事業と連携して、駅や停留所からの二次交通の充実、フリー切符やバスの利用者に対する観光施設の割引等の特典提供やイベントを実施する。

- ・バス共同運行
- ・タクシー利用者助成
- ・観光+宿泊補助
- ・広告宣伝

### 取組状況

○千葉県が実施したバス共同運行「成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業」は、成田発、国吉駅入り口降車15人、大原駅入り口降車74人、成田着、大原駅入り口乗車1人の実績。

○タクシー利用者助成等については、地方創生加速化交付金事業の採択がされなかった。

### 重要業績評価指標(KPI)

○タクシー助成利用者数 目標:270人 実績: 0人

# 地方創生推進交付金事業について

美食の街いすみ～サンセバスチャン化計画～(事業計画額:28,176千円)

## 事業計画

○ミシュランの星付オーナーシェフをはじめ、多くの著名な料理人がいすみ市にレストランやオーベルジュを開設し、一流の食材と技術を求めて、東京だけでなく、世界から食を求めて人が集まる街を出現させるため、以下の事業を行う。

- ・地域の宝勉強会の開催
- ・一流料理人と農家・漁師との交流会、いすみ食材フェア等の開催
- ・新たないすみ食材・料理研究

## 取組状況

- 一流料理人と地元の生産者や料理人、有識者を交え、いすみ市の食文化発展のため研究・開発・発信の活動として食の街の先進地であるサンセバスチャンへ視察研修を行った。
- いすみ市の食材の優れた点、新たな調理法や保存法を研究し、実際に店舗で販売等を行い、その成果等について情報共有と情報発信の場として「CLUB RED いすみLABO」を行った。
- いすみ市の食材を使用した商品開発・販売を行い、協賛する料理人・飲食店に対し、いすみ食材を提供し、いすみ食材フェア及びCLUB RED RESTAURANTを開催した。

## 重要業績評価指標(KPI)

- (1)いすみ市産品の新規取引店舗数 目標:13店舗 実績:13店舗
- (2)いすみ市内でのレストラン、オーベルジュ等の新規開業数 目標:1件(平成30年度) 実績: 0件
- (3)いすみ市へ観光入込客数 目標:2万人増 実績:7万人